「臨床分離された薬剤耐性菌の性状分析と院内感染対策」へのご協力のお願い

代表者	氏名：杉山　哲大	所属：薬剤部	職名：部長
共同担当者	氏名：山田　陽一	所属：就実大学薬学部	職名：講師
	氏名：塩田　澄子	所属：就実大学薬学部	職名：教授
	氏名：工藤　季之	所属：就実大学薬学部	職名：教授

1.　目的

薬剤耐性菌は世界中で蔓延していることから国内外で多くのデータの積み上げがなされている。特に 2015 年の世界保健総会で薬剤耐性対策に関するアクションプランが採択されたことを受けて、日本においても薬剤耐性（ AMR ：Antimicrobial Resistance）対策アクションプランが策定された。AMR 対策アクションプランの具体策の一つとして「抗微生物薬適正使用の手引き」が厚生労働省より正式に公開された。このような ARM 対策を実施することで、国内外の薬剤耐性菌の情勢も変化することが考えられ、今後、薬剤耐性菌の疫学研究はますます重要となる。

このような状況を踏まえ、岡山県北の基幹病院である津山中央病院で臨床分離された株の中で、特定の抗菌薬に耐性化した菌や、院内感染を起こした菌株について性状分析を行うことで薬剤耐性菌による院内感染対策の適正化を図る。

2.　対象と方法

菌株同定が簡便にできる POT 法を用いて、院内感染を起こす代表的な菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）や多剤耐性緑膿菌（MDRP）の同定を行う。院内への定着やアウトブレイクを起こした菌株については病原遺伝子や薬剤耐性遺伝子の保有状況、薬剤への感受性を調べる。

3.　研究期間

承認日　～　2027 年 3 月 31 日

4.　調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させて頂きます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
・治療内容、有害事象など

5.　情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院　病院長　　林　同輔
連絡先：電話 0868-21-8111（担当：薬剤部　杉山　哲大）